

2004年同様に上昇基調を取り戻せるか

Raku
Yomi

楽読(ラクヨミ)

nikko am
fund academy

現在の世界株式市場は、2004年の相場環境と共通する点が多いといわれています。

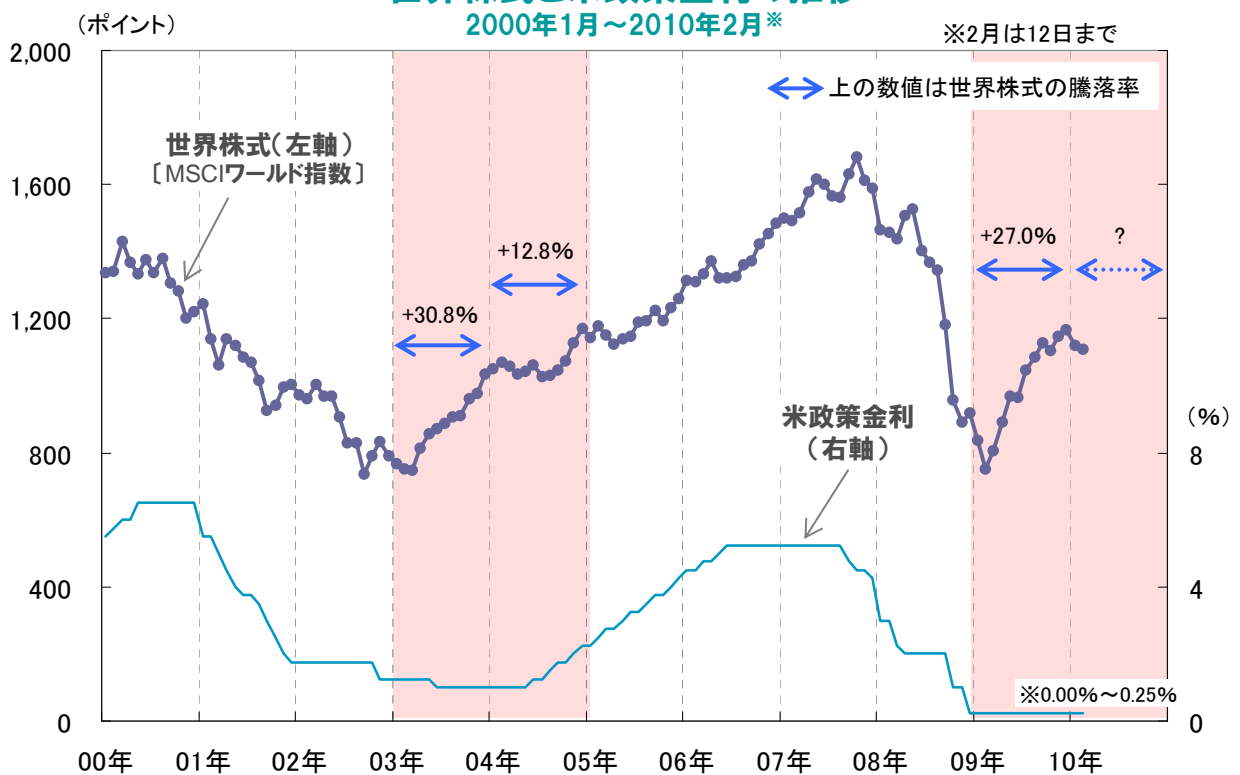
2004年の株式市場は、世界景気の回復を受け、前年に株価が大きく上昇した反動に加え、景気回復基調が鈍化するとの懸念や、各国中央銀行が金融政策を緩和から引き締めめに転換することへの警戒感から、前半は停滞感の強い展開となりました。市場の関心が特に強かったのが、米国の金融引き締めでした。米国では、6月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが開始され、それ以後も継続的に利上げが行なわれましたが、世界景気が着実な回復を見せるなど、利上げが世界景気回復の流れを失速させなかったことから、年後半に、株式市場は上昇基調を取り戻しました。

今年は、2004年と同様に、大底圏から株価が大きく反騰した年の翌年であり、世界景気が回復中、その持続性や各国の金融引き締めなどが市場の注目材料となっています。足元では、米国の金融機関に対する新たな規制案や南欧諸国の財政悪化問題、中国などの金融引き締めに対する警戒感などから株式相場は神経質な展開が続いています。これらが、世界景気にどう影響するか注視する必要がありますが、回復の流れを阻害しないことが示されるのであれば、景気回復に支えられた株価上昇が継続すると考えられます。

世界株式と米政策金利の推移

2000年1月～2010年2月*

※2月は12日まで



※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。